

ペレットストーブ SAIKAI 全機種共通 修理マニュアル

第1版 2015年7月1日

販売店様専用

*本マニュアルは、販売店様専用です。

*エンドユーザー様向けのものではありません。

目次

※メンテナンス・修理の際は必ず手袋、マスク、保護メガネを着用してください。

- ① 排気ファン交換手順 （3ページ）
- ② 温風ファン交換手順 （4ページ）
- ③ スパイラル組品交換手順 （5ページ）
- ④ 扉ガラス交換手順 （6ページ）
- ⑤ 扉用ガラスロープ交換手順（7～8ページ）
- ⑥ 故障かなと思ったら（9ページ）

メーカー対応となる修理内容

※2012 年までの製品の排気ファン交換

（2012 年までの MT-311 は室外機一式交換）

※MT-311・RS-mini のギアモーター交換

○修理時に必要な工具等

□ドライバー □六角レンチ（5ミリ）□スパナ（7ミリ）□ワイヤーブラシ □カッター
□養生シート □ゴミ袋 □雑巾・ウェス □懐中電灯 □集塵機（乾湿両用掃除機）□手袋
□マスク □保護メガネ □バケツ □スコップ □ヘルメシール（耐熱コーキング）

※ヘルメシール（耐熱コーキング）は弊社で販売しております。

○交換用部品・消耗品

ストーブ補修用の以下の部品は弊社で販売しております。（※販売店様向け）

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ・排気ファン | ・温風ファン |
| ・対流ファン | ・スパイラル組品（ギア・モーター付き） |
| ・扉ハンドル（各機種） | ・扉ガラス（各機種） |
| ・ガラス用ロープ（各機種） | ・炉内レンガ（SS シリーズ・DK シリーズ） |
| ・炉内セラミック（RS-4） | |
| ・燃焼ポット（内・外） | ・灰受け（各機種） |

① 排気ファン交換手順

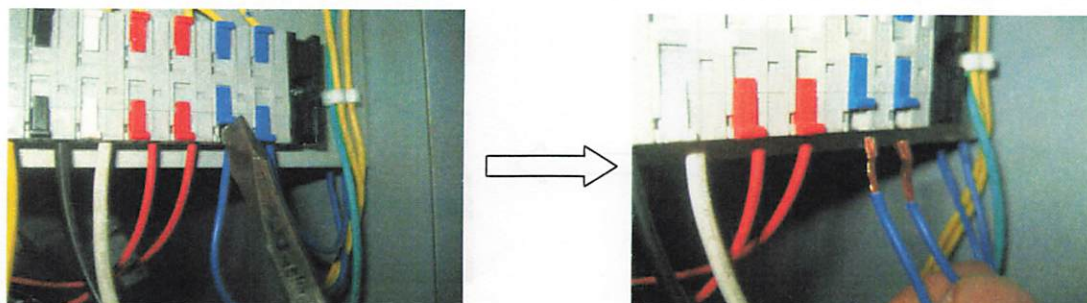
対象機種

■ 2013 年以降生産の全製品

2012 年までの製品の排気ファンは排気ファンケーシングと排気ファンモーターが一体式となっておりますので、排気ファンモーターが故障した場合はメーカー対応の修理・交換となります。MT-311 の場合は室外機一式交換となりますのでご注意ください。

1- 排気ファンハーネスを端子台から抜きます。(電源プラグを抜いて作業を行ってください。)

右側面パネルを外し、端子台の下列右側から 1 番目と 2 番目のツマミ（両方とも青）を押し上げ、端子台に接続されている配線を抜きます。



※DC モーター使用製品（RS-mini、RS-4）の配線は赤配線と黒配線になっておりますので配線脱着の際はご注意ください。

2- 排気ファンモーターを、排気ファンケーシングから取り外します。

排気ファンケーシングと排気ファンモーターを固定しているネジ5本をプラスドライバーで外し、排気ファンモーターごと排気ファンケーシングから取外します。

※MT-311 の場合（2013 年以降生産）室外機ボックスカバーを取り外しての交換となります。



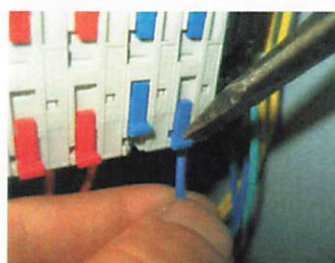
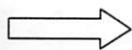
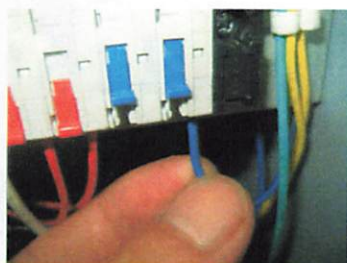
3- 新しい排気ファンを取り付けます。

新しい排気ファンモーターを排気ファンケーシングに取付け、ネジ5本で固定します。ハーネスを背面パネルにあるハーネスクリップに通し、端子台まで引き込みます。

最初に取り外した端子台の差し込み部にハーネスを奥まで差し込みます。

差し込んだら、ツマミを下へ下げて固定します。

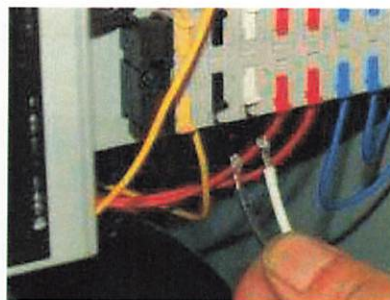
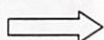
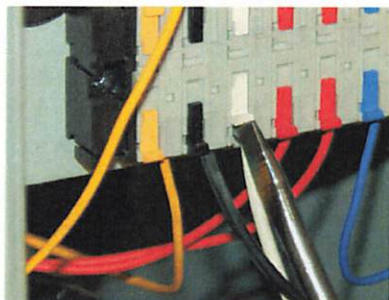
※ハーネスがしっかり差し込まれているか確認を行ってください。) 取付け後、電源を入れて排気ファンが作動することを確認してください。



② 温風ファン交換手順（SS シリーズのみ）

1- 温風ファンのハーネスを端子台から抜きます。（電源プラグを抜いて作業を行なってください。）

右側面パネルを外し、端子台の下列左から2番目（黒）、3番目（白）のツマミを押し上げ、接続されているハーネスを抜きます。



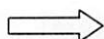
2- 温風ファンモーターのコンデンサーを温風ファンケーシングから取り外します。

※固定ネジをプラスドライバーで取り外すと
温風ファンケーシングから外れます。



3- 温風ファンモーターを温風ファンケーシングから取外します。

温風ファンモーター固定ネジ4本をプラスドライバーで取り外し温風ファンモーターごと温風ファンケーシングから取外します。



4- 新しい温風ファンモーターを取り付けます。

上記、1～3の逆手順で取り付けを行ってください。

※取付け後、燃焼確認を行い正常に温風ファンモーターが作動するか必ず確認を行ってください。

③ スパイラル組品交換手順（MT-311・RS-mini 以外の機種）

※MT-311・RS-mini のスパイラル交換はメーカー対応の修理となります。

1- 本体パネルを外します。（電源パネルを抜いてから作業を行なってください。）

初めに燃料タンク内のペレット燃料を空にし、スパイラル部のペレットや粉を集塵機で吸い取り燃料タンク内を空にします。

両側面パネル、背面パネルを取り外します。背面パネル取外しの際は、操作パネルを取り外してパネルにクリップ止めされているハーネス外しを事前に行ってください。



2- スパイラル組品を燃料タンクから抜きます。（作業前にタンク内のペレットを全て抜き取ります。）

燃料タンクのスパイラルケースとギアモーター接続部のフランジ固定ネジ4本をプラスドライバーを使用して取り外し、スパイラル組品ごと抜き取ります。



3- 新しいスパイラル組品を取り付けます。

スパイラルの先端がタンク内の軸受部にはまるように差し込み、外した4本のネジで固定します。

（右図の矢印の軸受にスパイラルの先端がしっかりはまっていることを確認してください。）

外したスパイラル組品のハーネスコネクタを接続し、側面パネル・背面パネルを取り付けます。

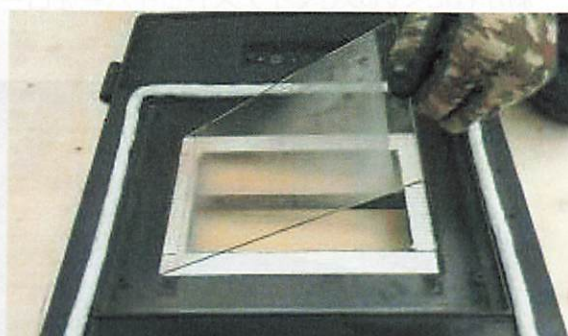
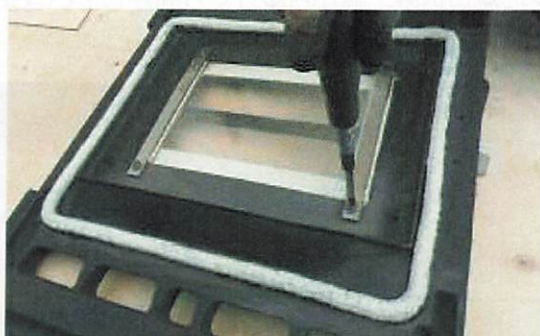
交換作業後、スパイラルモーターが作動しているか燃焼確認を行って動作異常がないか・異音等の発生がないことを確認して下さい。



④ 扉ガラスの交換手順

1- ネジで固定されているガラス押えを取り外し、ガラスを取り外します。

(機種によってガラス押えの形状が異なりますが、取外し方法は同じです)



2- 新しいガラスを取付け、ガラス押えをネジで固定し完了です。

※ガラスを交換した際は、ガラス押えがしっかり固定されてガラスがガタついていないか確認して下さい。

※RS-4 のみスプリングワッシャーとネジで固定されています。

⑤ 扉用ガラスロープ交換手順

(扉用ガラスロープは機種ごとに長さが異なりますので、修理機種と同じガラスロープをお使いください。)

1- 劣化したガラスロープを扉から剥がします。

※床が汚れないように養生を敷き、養生の上で作業を行ないます。

剥がれにくいのでマイナスドライバーをロープに差し込み、端からゆっくり剥がしていきます。

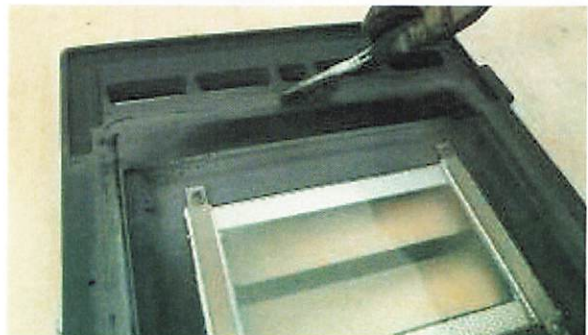


2- 剥がしたロープ痕をきれいにします。

※カッターを使用し、ロープの剥ぎ残しを取り除きます。



※細かい汚れは、ワイヤーブラシを使用して下地をきれいにします。



3- 耐熱コーキングを塗布し、ガラスロープを接着します。

※取り除いたガラスロープに沿いながら耐熱コーキングを塗布します。
(厚さは、8ミリ程が適量です)



※右の図の位置からガラスロープを少しずつ押しつけながら、貼り着けていきます。



4- ガラスロープと耐熱コーキングを接着させます。

※扉を本体に取付けハンドルを閉め、約一日程度そのままにします。

(耐熱コーキングが完全に乾かない状態で燃焼しますと、耐熱コーキングが膨張し剥がれやすくなりますので完全に乾いてから燃焼してください。)



⑥ 故障かなと思ったら

異音に関するトラブル

■ 本体・燃料タンク内から不定期に異音がする。

- ・ペレット燃料がスパイラルで送り出される時に、ペレットの大きさによって折れることがあります。この異音は製品に問題ありませんのでご安心ください。

■ 使用中、又は電源スイッチを入れると本体後ろ側から異音がする。

- ・排気ファン内部に煤や灰が詰まり、異音が発生している可能性がありますので、排気ファン内部の清掃を行ってください。
- ・長年使用中の場合、排気ファンの経年劣化の可能性がありますので、排気ファンの交換をお願い致します。（保証期間3年）

燃料が供給されないトラブル

■ ペレット燃料が供給されない。

- ・感震装置の球が落ちている可能性があります。感震装置を確認してください。
- ・燃料タンク内に燃料の粉が詰まり供給不良となっている可能性があります。一度燃料を取り出し、粉を集塵機で除去してください。
- ・燃料タンク内で燃料がブリッジ状態になり供給がストップしている可能性があります。燃料タンク内の燃料を一度かき混ぜて様子を見てください。
- ・燃料タンク内の残量が少なくなっている可能性があります。燃料送りの性質上、燃料タンク内全ての燃料を送り出すことができません。燃料を補充してください。
- ・上記項目以外で燃料が供給されない場合、スパイラル故障の可能性があります。スパイラルモーターの動作確認とスパイラルの回転確認を行ってください。
モーターが作動し、スパイラルが回転しない場合はスパイラルを接続しているイモネジが緩んでいますので、タンク内の燃料を一度取り出してスパイラルカバーを外し、イモネジの増し締めをお願いします。
スパイラルモーターが作動しない場合は、部品故障の可能性がありますので、本マニュアルに沿ってスパイラル組品の交換をお願いします。

■ ペレットが燃焼ポットに入らず、灰受けへとこぼれてしまう。

- ・燃焼ポットはしっかりセットされていますか？（向きは正しいですか？）
- ・中央スペーサーがしっかりセットされていない場合、燃料が跳ねて燃焼ポットに入りませんのでスペーサーのセット確認をお願いします。

不完全燃焼のトラブル

■ 不完全燃焼で炎が立ち上がらない。

- ・ 燃焼ポットはしっかりセットされていますか？セットされていない場合、空気の供給がされず、酸素不足となり不完全燃焼を起こします。
- ・ 煙管掃除はこまめにしていますか？煙管が詰まると給排気がされず不完全燃焼を起こしてしまい、様々なトラブルの原因となります。煙管の掃除を行ってください。
- ・ 長期間、給排気管の掃除を行っていないと灰や煤が溜まり不完全燃焼の原因となりますので（横引き配管設置の場合は特に溜まり易いです。）給排気管の掃除を行ってください。
- ・ 排気ファンは作動していますか？排気ファンを確認して故障の場合は本マニュアルに沿って交換を行ってください。

においのトラブル

■ ホコリが焼けたにおいがする。

- ・ 設置後、ならし運転を行わないと、塗装やホコリが焼けたにおいがします。
大燃焼で2～3時間ならし運転を行ってください。

■ 室内に煤っぽいにおいがする。

- ・ 煙管や配管は詰まっていますか？煙管が詰まっていると不完全燃焼につながり、煤漏れを起こす場合があります。

■ 上記以外の異臭がする。

- ・ 温風吹き出し口内に、異物が入り込んでいるかどうか確認して下さい。
異物が焼けている可能性があります。

※上記内容を確認、部品交換を行っても問題が解決されない場合は、弊社までお問い合わせください。

不気味なその顔

不気味なその顔は、実は、

「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、
「不気味なその顔」は、実は、

不気味なその顔

不気味なその顔は、実は、

不気味なその顔は、実は、
不気味なその顔は、実は、
不気味なその顔は、実は、

不気味なその顔は、実は、

不気味なその顔は、実は、
不気味なその顔は、実は、
不気味なその顔は、実は、

不気味なその顔は、実は、

不気味なその顔は、実は、
不気味なその顔は、実は、
不気味なその顔は、実は、

不気味なその顔は、実は、



〒950-2264 新潟県新潟市西区みずき野 2-12-9

TEL025-239-1400 FAX025-239-1401

販売店様専用電話番号：025-239-1402